

陸前高田市総合計画審議会 第3回分科会（防災・交流等） 議事録

日時：平成30年9月13日（木）13：30～15：00

場所：陸前高田市消防防災センター 2階 研修室

●基本政策6（防災意識を高め、防災・減災体制を整える）について

意見等なし

●基本政策7（消防・救急体制の充実を図る）について

【委員】

消防団員数と講習受講者数に関する指標の目標値が現状維持となっており、人口減少の影響によって確保に苦慮していると思われるが、増加できるよう目標値を見直してみてはどうか。

【消防長】

現状でも相当数を確保しているものと認識しており、これを減少させることのないよう取り組んでいく意味から現状維持としている。また、講習は小中学校などから依頼があれば対応しているが、現行どおり取り組んでいけば着実に市民へ普及していくものと考えている。

【委員】

確かに消防団員は、現状値の631人を維持するだけでも大変である。

●基本政策8（交通安全を推進する）について

【委員】

指標の「交通安全の推進に満足している人の割合」について、復興事業の進捗に伴って市民の交通事故に関する安心度合いも高まると思われることから、もっと高い目標値を設定してよいのではないかと。

【民生部長兼地域福祉課長】

10年後に80パーセントとするなど、見直しを検討したい。

【建設課長】

確かに10年後の満足度が70パーセントというのは低い。道路整備のほか、ソフト面で交通安全教育などを行っていく必要がある。

●基本政策9（防犯体制の強化と安心なまちづくりを推進する）について

【委員】

基本政策8と同様に、満足度に関する指標の目標値を高める見直しについて検討してほしい。

●基本政策21（協働によるまちづくりを推進する）について

【委員】

「協働」という言葉の本当の意味を市民に理解してもらわなければ求める数値を得られない

め、普及していく必要がある。

●基本政策 22（住民活動を支援する）について

【委員】

指標の「住民活動の支援に満足している人の割合」について、目標値をもっと高く設定してよいのではないかな。

【まちづくり戦略室長】

検討したい。

●基本政策 23（地域間の交流を促進する）について

意見等なし

●基本政策 29（地域資源を活かした観光振興を推進する）について

【委員】

市民満足度に関する指標について、5年後に5パーセントしか増えないのは寂しい。アンケートの回答をしなかった市民に関心を持ってもらえるよう、60パーセントなどもっと高く設定したほうがよいのではないかな。

【商工観光課長】

検討することとしたい。

【委員】

指標に民泊者数を採り入れてみてもよいのではないかな。

●基本政策 31（健全な財政運営を推進する）について

【委員】

指標の「市の健全な財政運営の推進に満足している人の割合」について、市の財政状況を市民が知って納得することも満足度につながると思われることから、もう少し目標値を高めてもよいのではないかな。

【総務部次長兼財政課長】

10年後の目標値を50パーセントとしており、市民の半数に財政状況を理解してもらうことはむしろ高い目標と思われる。

●基本政策 32（広聴広報活動の充実を図る）について

意見等なし

●基本政策 33（利便性の高い行政サービスを提供する）について

意見等なし

（以上）